

福島津島村に心をよせて

「花地蔵物語」

— 満蒙・開拓・原発 —



絵：志田弘子作

2024/1/19(金) 完成披露演奏会

小金井 宮地楽器大ホール 17:00 開場 18:00 開演

人びとは国策だった「満蒙開拓」に万歳の声で送り出され、大戦末期のソ連参戦時には関東軍が彼らを見捨てます。逃避行の後、やっと港にたどり着いた人びとに対する国の政策は「現地にとどまれ」でした。それでも帰国を果たし津島に入植した人たちの中にも「ここがふるさと」と呼べる暮らしをきずいた人びとがいました。彼らとその後世代を襲ったのが原発事故による避難だったのです。

「花地蔵物語」は、こうして繰り返しふるさとを追われた人びとの「棄民」の歴史を描き、しかし、苦悩の中で明日に向かって力強く生きる姿を歌いあげます。

この作品は、大門高子作・構成の「紫金草物語（大西進作曲）」、「再生の大地（安藤由布樹作曲）」につぐ三作目で、日本のかつての加害に目を向けた「日中友好三部作」がそろったこととなります。

主催：「花地蔵物語」を歌う合唱団

後援：(社) JFC 日本作曲家協議会 / 日中友好協会 / 撫順の奇蹟を受け継ぐ会東京支部

NPO 法人中国帰国者・日中友好の会 / 「撫順」から未来を語る実行委員会



大門高子：作詞 / 構成
 長い間、歴史や環境教育問題などを取材し、合唱曲やミュージカルに構成し数多く取り組んできている。最近は主に日中関係をテーマにして取り組むことも多く中国・台湾・NYなどの海外公演でも好評であった。今回は「紫金草物語」「再生の大地」に続く三部作の作品として「花地蔵物語」が期待されている。



安藤由布樹：作曲 / 音楽総監督
 東京藝術大学作曲科卒業。日本作曲家協議会会員、日本リトアニア名誉理事、日本ウズベキスタン協会会員。主要作品にオペラ「杉原千畝物語」、オペラ「ラビュリントス」「お鶴島」カンタータ「この灯を永遠に」など多数。世界各国と音楽を通じての平和友好・相互理解をライフワークとしている。

一部

「**棄民**」を語る

〜「花地蔵物語」の理解のために〜

ちばてつや「ビデオレター」

(漫画家・満洲からの帰国者)

三瓶春江 (津島入植・原発被害者)

小野寺利孝 (津島原発訴訟弁護団)

二部

合唱と語り構成
 「**花地蔵物語**」―満蒙・開拓・原発―

「花地蔵物語」を歌う合唱団

府中紫金草合唱団
 「再生の大地」合唱団・ほか

演技 春口明朗・小淵光世・小林正・ほか
 ナレーション 松川真澄
 演出 花柳琴臣



金田まり子：指揮

東京藝術大学音楽学部音楽科卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了。ソプラノ歌手としての演奏活動とともに「悪魔の飽食」を歌う東京合唱団等、多くの合唱団の指揮者指導者、ヴォイストレーナーとしてまたミュージカル公演の歌唱指導者として幅広く活躍。自然な発声法に基づく表情豊かな音楽作りが支持されている。



戸梶江吏子：ピアノ

玉川大学芸術学科音楽専攻ピアノ科卒業、同大学芸術専攻科修了。横浜国立大学大学院教育学研究科芸術系教育専攻修了。2009、2015、2021にソロリサイタルを開催。ダンカン舞踊継承者メアリー佐野との共演活動を長年に渡り続けている。声楽・合唱・楽器の伴奏者として活躍中。



下田仁：シンセサイザー

幼少よりピアノやギターに親しみ、その後、ブラスバンド・合唱・ジャズ・ラテン・ポップス等様々なジャンルで音楽体験を広げた。その後、主に市民ミュージカルにおいて、ピアノ & シンセサイザーという極めてコンパクトな構成でシンセ演奏を担う機会が増えた。最近ではジャズボーカルにも挑戦している。



日時：2024年1月19日(金)
 時間：17時開場・18時開演
 場所：小金井 宮地楽器大ホール
 入場料：¥2,000 (全席自由席)
 問合せ：岡 (090-1264-2899)
 佐藤 (090-8052-5832)



合唱団員への花束・プレゼントはご遠慮させていただきます。

中央線 武蔵小金井駅の南口、徒歩2分

